



# 2013 北海道トレセン U-13 前期キャンプ

【報告者】 宮本 英樹

2013年4月12日～14日

会場：札幌サッカーアミューズメントパーク  
札幌市東雁来公園

公益財団法人  
北海道サッカー協会



## 1 はじめに

4月12日(金)～14日(日)の2泊3日で、SSAPを会場に選手21名を招集し、トレーニングとゲームを行いました。

## 2 トレーニング

今回は、U-12年代からの課題となっている内容や、ゲームが入っていることを勘案して、「パス&コントロール」「守備」「ポゼッション」を行いました。

### (1)「パス&コントロール」

今日が初めての外でのトレーニングという選手が何人かおり、ピッチ環境に慣れていない感じも見受けられました。トレーニングでは、味方に選択肢を与えるパスの質と、狙いのある選択肢の多いコントロールを追究し、改善できた部分もありますが、動きながらのコントロールでのブレが大きいことと聞き足ではない方のキックの精度が悪いことが課題として残りました。

### (2)「守備」

トレーニングでは、ボールを奪いにいくためのファーストポジションとボールに対するアプローチ後の対応を追究し、それに応じたカバーリングポジショ



ンを確認しました。最初はアプローチの意識の低さや優先順位の理解が足りない場面もありましたが、コーチングをしてコースを切らせながら、パスコースを限定してボールを奪う場面が何度か見られるようになりました。しかし、後方のサーバーやGKにパスが戻された時のポジション修正が遅く、簡単にくさびを入れられる場面や、ボールとは反対サイドのポジショニングが甘く、崩されそうになる場面も見られました。

北海道での一貫指導をブロックトレセンから！！  
日本代表とオリンピック代表を2015年までに輩出する！！  
和歌山国体(2015)までには優勝を！！

### (3)「ポゼッション」

ボールを前に運ぶためのポジショニングを取り続けること、そのポジショニングを取るために常に相手、味方の状況、スペースを観ておくことを求めました。また、優先順位を意識しながらも、急がずにボールを動かして楽な方へボール動かしていくことを意識させました。

ボールと自分だけの関係になり、味方や相手を意識してポジショニングが取れない選手も多かったのですが、徐々に相手や味方の状況を観て、ポジショニングを取り直すことができるようになっていきました。しかし、相手の守備が集結している狭い局面に無謀に飛び込んだりするなど、判断が悪くボールを失う場面も見られました。



## ゲーム

## 4 GK

### (1)vs 道トレセン U-14(8vs8)

トレーニングで行った守備の面で、攻守が切り替わった時のポジショニングや 1stDF の状況によってポジションを修正する選手が出てきて少し改善されたと思います。その結果、失点はしたものの積極的なアプローチ、粘り強い対応が要所要所に見られトレーニングの成果を感じさせる内容になりました。もっと on の守備(球際、コンタクト)の意識は高く、Off の守備の準備(1st の状況、味方との距離感、周りのスペース等を観ておく)が出来れば、より質の高い守備が出来ると感じました。

### (2)vs コンサドーレ U-14(11vs11)

攻撃面ではゴールへ向かう意識が強く、素早い攻守の切り替えから相手ゴールに迫る場面が多く見られました。しかし、相手の守備陣が整っている場合にも縦への強引な仕掛けや単純なパスミス・コントロールミスでボールロストする場面があり、確実にボールを前へ運ぶ判断力や技術が必要と感じました。

守備面では、トレーニングで行ったパスコースの限定や粘り強い守備が見られました。しかし、マークを意識しすぎたためにスタートポジションのズレが生じ、スペースをケアする意識やカバーリングの意識が低かったと感じました。



3日間を通じて、GKの選手たちは積極性を持ち、「うまくなりしたい」という向上心を持って参加してくれました。

トレーニングでは、シュートストップ、クロスを中心に行いました。特に課題だと感じたのは、シュートストップ、クロス共にボールが移動してもポジショニングの修正ができないことと、キャッチングをするのか弾くのかの判断があいまいなため、ルーズボールが多くなってしまっていたことです。

フィールドプレーヤーとの練習の時には、なかなかボールポゼッションに参加できず、ボールが来てから考えてしまうので GK にボールが入るとテンポが遅れてしまうという現象が起きてしまっていました。GK だけの練習の時よりリアリティがあり、選手たちも課題を多く感じられたのではないかと思います。

ゲームでは、ボールサイドだけではなくピッチ全体の状況を把握すること、そして状況に合わせて前後のポジショニングを意識するように選手にコーチングしました。ゲームでの課題は GK からのリスタートが雑になってしまい、守備から攻撃への切り替えがうまくいかなかったことです。

